

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-239045  
 (43)Date of publication of application : 27.08.2002

(51)Int.Cl.

A63B 53/04  
 A63B 53/00

(21)Application number : 2001-045520

(71)Applicant : TANAKA YASUHIRO

(22)Date of filing : 21.02.2001

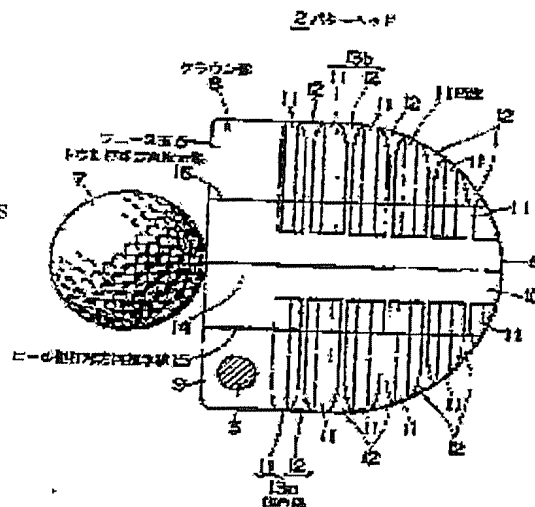
(72)Inventor : TANAKA YASUHIRO

## (54) PUTTER HEAD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a golfer to easily position his or her eyes right above a golf ball in addressing.

SOLUTION: A crown section 8 atop a head 2 is provided with a heel side ball hitting direction instruction line 15 and tow side ball hitting direction instruction line 16 in a direction orthogonal with a clubface 5 in rugged parts 13a and 13b formed by inscribing a plurality of hollow grooves 11 in a direction parallel to the clubface 5.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.06.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3634274

[Date of registration] 07.01.2005

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-178857  
 (43)Date of publication of application : 03.07.2001

(51)Int.Cl.

A63B 53/04  
 A63B 53/00

(21)Application number : 11-367898

(22)Date of filing : 24.12.1999

(71)Applicant : SUMITOMO RUBBER IND LTD

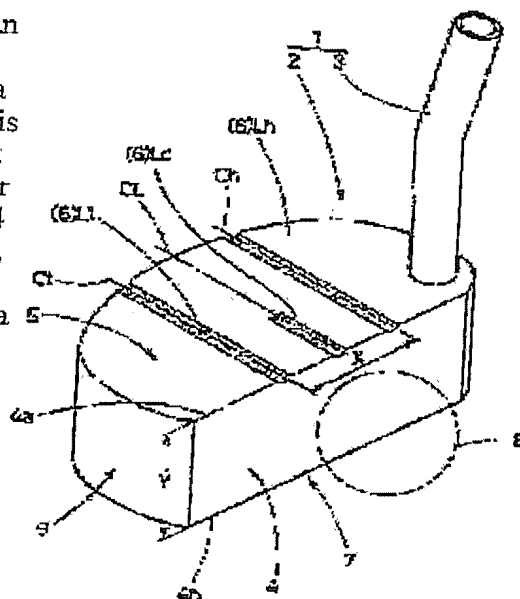
(72)Inventor : HASEGAWA HIROSHI

## (54) PUTTER-TYPE GOLF CLUB

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a putter that can stabilize the rolling direction of a hit ball.

SOLUTION: A putter-type golf club 1 has a head 2 with a face surface 4 for striking a ball B. At a crown part 5 that is connected to an upper edge 4a on the face surface 4 and at the same time forms the upper surface of the head, a center line Lc that is extended at right angles to the face surface 4 at a middle position CL in the direction of head length HL, a line Lt at a toe side and a line Lh at a heel side that are arranged linearly symmetrically with the center line Lc as a center and are parallel are formed. Distance X between the center line of the line Lt at the toe side and that of the line Lh at the heel side is set to 42.67 to 50.80 mm.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

## ⑫公開特許公報(A)

昭54-156737

⑪Int. Cl.<sup>2</sup>  
A 63 B 53/04識別記号 ⑬日本分類  
120 G 522.1庁内整理番号 ⑭公開 昭和54年(1979)12月11日  
6970-2C発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 5 頁)

## ⑮心合せ縞を有するバット用ゴルフクラブ

⑯特 願 昭54-4714  
 ⑰出 願 昭54(1979)1月18日  
 優先権主張 ⑱1978年5月30日⑲米国(US)  
 ⑳910686  
 ㉑発明者 グレン・スティーヴン・ベンソン  
 アメリカ合衆国インディアナ州

ミシヤワカ・ノース・スチュー  
 ドベイカー705  
 ㉒出 願 人 グレン・スティーヴン・ベンソン  
 アメリカ合衆国インディアナ州  
 ミシヤワカ・ノース・スチュー  
 ドベイカー705  
 ㉓代 理 人 弁理士 古谷 肇

## 明 細 書

## 1 発明の名称

心合せ縞を有するバット用ゴルフクラブ

## 2 特許請求の範囲

1 バット用のゴルフクラブにおいて、垂直で平垣を打撃面と、この打撃面の上方の近傍でこの打撃面から後方へ延伸する概して水平に広がる第1表面を画成する第1手段と、前記第1表面から後方に水平に段差があり、垂直方向に下に隔壁され、概して水平に延びる第2表面を画成する第2手段とを具えている細長く伸びたヘッドと、

前記第1表面上を前記上縁に対して垂直な方向に延伸する横方向に平行に隔壁された有眼の幅値の縦数の第1縞と、

前記第2表面上で前記第1縞と等しい幅値の有限な幅値の横方向に平行に隔壁された縦数の第2縞で、この第2縞の各々が前記第1縞の各々に対して平行に延び、また、この第2縞の各々が前記第1縞のそれぞれひとつ

に対して同一の垂直平面内に心合せされており、前記第1縞のそれぞれの後端が前記第2縞のそれぞれひとつの垂直上方に隔壁された位置で終りその結果使用者の両眼が前記打撃面および前記第1および第2表面に垂直で前記細長く伸びたヘッドの質量中心を含む中央垂直平面内に位置している時に前記第1および第2縞が連続的に垂直方向に一直線に見られ、前記使用者の両眼が前記中央垂直平面のいずれか側面に偏移した時に前記第1および第2縞が垂直な整列線から外れて見えることによつて、この使用者が常に自身の頭部を前記第1および第2縞の心合せを念頭に置いて細長く延びたヘッドに対し正しく位置極めし得る縦数の第2縞とを含んで構成される、バット用ゴルフクラブ。

2 特許請求の範囲第1項記載のバット用ゴルフクラブにおいて、一組の前記第1および第2縞が前記中央垂直平面内の中央に配設されることを特徴とする、バット用ゴルフクラブ。

3. 特許請求の範囲第1項記載のバット用ゴルフクラブにおいて、前記細長く伸びたヘッドが、前記打撃面から後方に隔れ、かつ前記第1および第2表面の間に位置する垂直に延伸する後壁を含み、さらに横方向に配設された前記第1および第2線のひとつずつの間の間隔よりも広い幅を有する前記垂直後壁の中の凹部を固定する第5手段を含むことと、前記凹部の底表面が前記第2表面と同一平面内にあることと、前記第2線が前記凹内に延伸しこの凹部の正面壁の近傍に終ることによつて前記第2線の各々の一部分が前記第1線のそれぞれのひとつの下に位置することとを特徴とする、バット用ゴルフクラブ。

4. 特許請求の範囲第1項記載のバット用ゴルフクラブにおいて、前記第1および第2線のそれぞれが、前記第1および第2表面に接着され、前記細長く伸びたヘッドの色に対してはつきり対照をなす色を有する素材の薄い層であることを特徴とする、バット用ゴルフク

ラブにおいてはいずれもクラブを容易にす早く使用するためには心合せ機構はあまりに細部機構がありすぎて、その上、これらのバット用ゴルフクラブにおいてはいずれもゴルフボールの所望の進行線に対して垂直に打撃面を容易に正しく心合せするため他の区域における細部機構が不十分である。バット用ゴルフクラブならびにゴルフ試合中のこのクラブの使用についてはプロから初心者まで全てのプレーヤが思い悩んできた。バット用ゴルフクラブの打撃面を当プレーヤが選択した目標進行線に対して直角に配向することは肝腎なことである。Taylor氏の米国特許第5,954,265号においてプレーヤが選択した所望の目標進行線に打撃面を容易に正しく心合せするための先行案が開示されている。さらに、このTaylor氏の特許において、バット用ゴルフクラブの頂面の全体に多数の隔置された線を備える方法による打撃面の正しい心合せの問題の解決案が開示されており、この案ではプレーヤの視線が細長く伸びたヘッドの頂

ラブ。

特開昭54-156737(2)

5. 特許請求の範囲第1項記載のバット用ゴルフクラブにおいて、少くとも本線の線を各表面に対して配設することを特徴とする、バット用ゴルフクラブ。

#### 5. 発明の詳細な説明

この発明は、バット用ゴルフクラブに関し、特に、このバット用ゴルフクラブの細長く伸びたヘッドの頂面に対して使用者の頭部を容易に正しく位置決めできるようにこのクラブ上に心合せ線を施したバット用ゴルフクラブに関するものである。

バット用ゴルフクラブの細長く伸びたヘッドの頂面に対して使用者の頭部を容易に心合せできるようにこのクラブ上に線を施したバット用ゴルフクラブについては既に公知である。McCabe氏の米国特許第3,880,450号ならびにShillington氏の米国特許第4,043,562号においてこの主題に関する最近の革新技術が開示されている。ただしこれらのバット用ゴルフク

ラブのどこに向けられようとも整列のための視線の集中は一本の線すなわち線に限定されなくてもよいようになっている。これらの線の全てがこの打撃面を一様に横切りすなわちこの打撃面に直交しているので、誤った特性である一本の線上に視線を集中することが除かれ、この心合せは正しくす早く実行され維持される。ただし、このTaylor氏の特許にはバット用ゴルフクラブの細長く伸びたヘッドに対してプレーヤの頭部を容易に正しく心合せするためのいかなる機構も含まれていない。

従つて、この発明の目的は、ゴルファーが頭部の心合せを含む正しい姿勢を確保できるようにするための心合せ機能という特徴を有するバット用ゴルフクラブを提供すること、ならびに、このゴルフクラブのシャフトおよび打撃面の位置決めを手助けすることにある。

この発明のさらに目的とするところは、一対の水平方向に延伸し垂直方向に隔置した水平に設けのある裂面で打撃面から後方へ延伸し、こ

これらの表面の下方のそれが上方の表面の後縁よりも後方に延伸している表面を備えているバット用ゴルフクラブを提供することにある。前記上方表面は打撃面の上縁の近傍でこの打撃面から後方へ延伸している。この目的は筒状面のそれぞれに心合せ線を提供することも含んでいる。ただし、一方の表面の各々の心合せ線は別の表面の心合せ線のひとつと同一平面内にあることも含んでいる。この平面は打撃面および両表面に垂直に延伸している。それによつて、各表面の線は、細長く伸びたヘッドの質量中心を含む中央垂直面内に使用者の両眼が位置された時に、連続して垂直方向に一直線に見える。

この発明の別の目的は、選択された目標に向かう所望の走行線に垂直な関係で打撃面を維持するために心合せ線に等価に視線を集中できるように、図上のように、バット用ゴルフクラブの上方へ向いた面上に多数の心合せ線を提供することにある。

添付図面に示したバット用ゴルフクラブ 10

両側壁 22、23 と底壁 28 と連続している。凹溝 26 の真正面にある正面壁 27 は打撃面 12 に対して概して平行に延伸している。この最底表面 28 はこの凹溝の入口から終端 29 ままで後方に延伸している。この終端 29 は後方に向いた表面 24 から後方に露出されている。その結果、表面 28 の部分 X は、上表面 16 の延伸部分よりもさらに細長く伸びたヘッドの後方まで伸びている。

表面 16 上に複数の心合せ線 31、32、33 がある。各心合せ線は打撃面 12 から直角に上表面 16 の全長にわたって延伸し、この上表面 16 の後縁 24 で終る。さらに、複数の心合せ線 31'、32'、33' が上方を向いた表面 28 に配設されている。線 31'、32'、33' のそれぞれは、表面 16 上の対応する線 31、32、33 と共通する平面内に含まれている。線 31 と 31'、32 と 32'、33 と 33' の組合せのそれぞれに対応する共平面は、打撃面 12 の平面および表面 16 の平面の双方に垂直であ

特開昭54-156737(3)

は、直立した平坦な打撃面 12 ならびにヘッドのヒール側面の近傍にしっかりと固定されたシャフト 15 を備えている細長く伸びたヘッド 11 を含んでいる。この打撃面 12 は概して垂直な平面内を延伸する。この細長く伸びたヘッド 11 は、概して水平に延伸し僅かに弧を描く底表面 14 を備えている。また、この細長く伸びたヘッド 11 は、打撃面の上縁の近傍からこの打撃面の後方へと延伸する水平に広がる上表面 16 を備えている。この上表面 16 は打撃面 12 に対して概して垂直な関係にある。この細長く伸びたヘッド 11 の両端部すなわち爪先側面 17 と踵側面 18 とは丸味を帯びているので、水平に延伸する上表面 16 から底表面 14 へと円滑に推移する。この細長く伸びたヘッド 11 の後方に向いた表面 19 には凹所 21 がある。この凹所は、互いに平行な両側壁 22、23 と後方に向いた表面 24 と底壁 28 とを備えている。この表面 24 には凹溝 26 が形成されている。この凹溝の両側壁と底壁とは、凹所 21 の

る。さらに、線 31'、32'、33' は凹溝 26 内に延伸し、その中の壁 27 の近傍で終る。その結果、線 31、32、33 のそれぞれは対応する線 31'、32'、33' のそれぞれの一部分と重なり合う。

このバット用ゴルフクラブの使用法は次の様になる、すなわち。

ゴルファーはまず第 1 にこの細長く伸びたヘッド 11 を地面に平らに置き、上表面 16 がこの地面に概して平行になるようにする。こうすると、シャフト 15 の一端のグリップの位置が自ずと決まってくる。このゴルファーの眼部がこのバット用ゴルフクラブの上方にもしも位置している場合であれば、このゴルファーの両眼は、第 5 図の点線 56 で略図的に示したように打撃面 12 と上表面 16 の双方に垂直に延伸する垂直面内にあるにちがいない。この位置において、心合せ線 31、32、33 は、第 1 図に図示したように、それぞれ対応する心合せ線 31'、32'、33' に対して連続して一直線になつてい

るように見えるであろう。他方では、もしこのゴルファーの両眼が平面36に対して平行な別の平面37内に位置するようにするならば、この心合せ線31、32、33は、第6図で明確に図示したように線31'、32'、33'に対して整列線から外れて見えるであろう。この状態でこのゴルファーは直ちに、彼の頭部が細長く伸びたヘッド11の質量中心に対して不正確に位置していることを悟るであろう。プレーヤの両眼が細長く伸びたヘッド11の質量中心を含む平面内に位置すべきであるということはバットの際の周知の原理である。線の組合せが奇数線あることと、この細長く伸びたヘッド11の中心に心合せ線32、33が位置し、従つて、これら両線がこのヘッド11の質量中心を含む平面を形成していることがわかるであろう。かくして、この平面36内に両眼を位置極めすることにより、第1図に図示したように心合せ線の心合せによつて表示されるようにゴルファーの頭部が正しく位置極めされていることがわかる。

いる。その結果、たとえゴルファーの視線がこの細長く伸びたヘッドの頂面のどこに向けられようと、これらの複数の平行線のおかげで心合せに対する視線集中は容易になる傾向にある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明を要するバット用ゴルフクラブの細長く伸びたヘッドの平面図である。

第2図はこのバット用ゴルフクラブの正面図である。

第3図は第2図の線II-IIについての断面図である。

第4図はヒール側から見たこのバット用ゴルフクラブの側面図である。

第5図はこのバット用ゴルフクラブの背面図である。

第6図は第1図に示したバット用ゴルフクラブの細長く伸びたヘッドの平面図と同様の図であるが、この場合は使用時の視線の向きによつて心合せ線がずれている、それによつて、使用者は、心合せ線が第1図に示したように垂直方

符照54-156737(4)  
もしこのゴルファーの両眼が平面37から中央垂直平面36の反対側の別の平行平面38に移動した場合には、心合せ線31'、32'、33'が、第6図に示したような点線位置に配向されたように心合せ線31、32、33に対して偏移して見えるであろう。

このバット用ゴルフクラブ10を使用すると、バットを突進する際にゴルフボールを打撃する瞬間にゴルファーが意識的におよび無意識に気を配る多くの基本的な考慮を省略することができる。ゴルフボール8を打撃するための正しい衝撃点は、この細長く伸びたヘッド11の両端面16、28のそれぞれに上の線32、33によつて表示される中心線に沿っている。このボールの走行のための目標線の選択に際して、この打撃面12は走行線に対して直角に整列させられる。この細長く伸びたヘッドの打撃面12に対して直角に配向されている上向きの端面16、28上の複数の心合せ線31、31'、32、32'、33、33'が意識下で使用されて

向に心合せされるように彼自身の頭部を再設定できる。

- 10...バット用ゴルフクラブ
- 11...細長く伸びたヘッド
- 12...打撃面
- 14...第2面・下面
- 16...第1面・上面
- 24...後壁
- 26...凹窩
- 27...正面壁
- 28...底面
- 31、32、33、31'、32'、33'...心合せ線
- 36...中央垂直平面

出願人代理人 古 谷 肇

特開 昭54-156737(5)

